

岩手県立高田高等学校 広報



第13号

八重の汐

技 創
錬 至
磨 誠
造 造



女子ソフトテニス部

**県高校新人大会
女子ソフトテニス部
団体優勝**

ソフトテニス競技の県高校新人大会が十月十日(日)から十一日(月)にかけて、北上市の和賀川グリーンパークコートで行われました。

本校の女子ソフトテニス部は団体の部で十六年ぶり七回目の優勝を飾りました。個人の部でも金野里琉(二年)・門田真歩(二年)・ヘアが優勝、亙理有沙(一年)・村上心元(二年)ペアが三位入賞を果たしました。

女子ソフトテニス部は、今年の県高総体で十四年ぶりの団体優勝を果たし八月のインターハイに出場しました。全国出場の際を今回の好成績につなげることができました。

「志望理由書」とは

- 過去の体験だけで終わらない
- 設備のことだけで終わらない
- 条件のことだけで終わらない
- きれいごとのことだけで終わらない
- 自分のことだけで終わらない

未来志向

内容

**一学年対象
志望理由書説明会**

十月十九日(火)、二学年生徒を対象に志望理由書説明会が行われました。就職や進学といった高校卒業後の進路選択の際、「なぜ、志望したのか」が問われますし、説明しなければなりません。

**高田高校新聞一八八号
が最優秀賞を受賞**

今般、第四十四回岩手県高等学校総合文化祭新聞コンクールの結果が発表され、タブロイド判・その他の部門で本校の新聞委員会が制作した学校新聞

高田高校新聞 188号

そこで、この説明会では、一年後を見据えて自分の進路について深く考え、適切な志望理由書を書くための基礎知識について学びました。

なお、この説明会は、本校の総合的な探究の時間である「T×Actio n」の一環として開催されました。



難しい...

「高田高校新聞一八八号」が最優秀賞に選ばれました。

「高田高校新聞」が最優秀賞に選出されるのは、これで三年連続となりました。

一八八号では、当時七年ぶりに全日本高校選手権(通称、春高バレー)出場を果たした女子バレーボール部の活躍を紹介する記事を掲載しました。

なお、この新聞は、東京で開催される来年度の全国高校総合文化祭に推薦されます。



ウニがいました

**広田町大野湾
磯焼け対策事業**

十月二十日(水)、海洋システム科海洋科学コース三年生の生徒が、広田町の大野湾の田の浜地区で、海中の藻場を調べるために地域連携潜水水モニタリング調査を行いました。

この調査は、近年深刻になっている海の磯焼け問題への対策を図るため、広田湾漁業協同組合様と、その事業委託を受けている潜水土木業の橋野潜建様、そして本校とが連携して行ったもので、五年がかりの継続調査の一環でした。

磯焼けは、海水温の上昇や親潮の勢力低下、海藻を食べるウニの異常発生などが原因とされ、陸前高田市における藻場は、東日本大震災津波前と比べて約八十六パーセントが失われ、消失率は県内で最大となっています。

【第5号議案】

皆さん「いじめ」について深く考えたことがありますか。

①「いじめ」相手が「嫌だ」「つらい」「苦しい」と思うことです。

- 相手を「からかう」「脅す」「悪口を言う」。
- 叩く、蹴るなどの暴力をふるう
- 持ち物を「隠す」「盗む」「壊す」
- 仲間外れにする。無視する。
- SNSなどで誹謗中傷する

このような行為は全て「いじめ」であり、自分では「いじめ」と思っていない相手も少しでも嫌な思いをすれば「いじめ」です。

②「いじめ」は決して許される行為ではありません。

③どのような場合でも「いじめている人」が悪いのです。

④いじめを周囲の大人、先生に伝えることは「告げ口」ではなく「正しい行為」です。

この機会に「いじめ」について深く考えてみてください。

いじめ防止宣言

当日は、橋野潜建様の潜水士の方が、水深三、四メートルほどの場所で藻場の状況を調べ、生えている海藻やウニなどを採取し、本校の生徒も一緒に潜水し、作業を見学しました。

後期生徒総会

十月二十日(水)の七校時、氷上ホールで後期生徒総会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、Microsoft Teamsによる各教室への中継となりました。総会では前期の反省や生徒会活動の中間決算、後期の活動目標について審議するとともに、「いじめ防止宣言」を出しました。